



## 出演者 PROFILE



### 高橋多佳子 (ピアノ) Takako Takahashi, Piano

桐朋学園大学卒業、国立ワルシャワ・ショパン音楽院研究科修了。第12回ショパン国際ピアノ・コンクール第5位、第6回ポルト市国際音楽コンクール第2位、第3回ラジヴィーウ国際ピアノ・コンクール第1位、第22回日本ショパン協会賞などを受賞。リサイタルやオーケストラとの共演など活発な演奏活動が続ける。既に22タイトルのCDをリリースし、多くが“レコード芸術誌特選盤”となる。2019年12月に『ショパン:ピアノ協奏曲第1番他』(オクタヴィア・レコード)、2020年2月に『椿三重奏団/メンデルスゾーン&ブラームス:ピアノ三重奏曲第1番』(アールアンフィニ)と続けてリリースされ大きな話題となった。2015年刊行の『ショパンの本』(音楽之友社)ではDVDでのピアノ演奏を担当した。宮谷理香とのピアノ・デュオ「デュオ・グレイス」、磯絵里子(Vn.)、新倉瞳(Vc.)との「椿三重奏団」としても活動。《生で聴く「のだめカンタービレ」の音楽会》中心メンバー。

ヨーロッパの著名な国際音楽祭への出演や、ポーランドの《青少年のためのショパン国際コンクール》、ロシアの《ラフマニノフ国際コンクール》に審査員として招聘されるなど国際的なキャリアも築いている。

### 磯 絵 里 子 (ヴァイオリン) Eriko Iso, Violin

桐朋学園大学卒業後、文化庁芸術家在外派遣研修員としてブリュッセル王立音楽院に留学し、修士課程大賞を受賞し首席修了。マリア・カナルス国際音楽コンクールほか国内外のコンクールで入賞。

ソリストとしてオーケストラとの共演、全国各地でのリサイタルの他、宮崎国際音楽祭への参加、鎌倉芸術館ソリストメンバー、「デュオ・プリマ」「Ensemble Φ(ファイ)」「デュオ・パッシオーネ」「椿三重奏団」など多彩な演奏活動を展開。

(一財)地域創造公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト、並びにソニー音楽財団「こどものためのクラシック」登録アーティストとしてアウトリーチ活動にも積極的に参加している。2010年よりFMヨコハマ「磯絵里子のSEASIDE CLASSIC」のパーソナリティを務める。

デビュー以来11枚のCDをリリース。真摯な演奏への取り組み、確かな技量に基づいたヨーロッパ仕込みの洗練された感性には定評があり、「気負いのないしなやかな活動ぶりが、クラシック音楽シーンで着実に存在感を放っている」など各媒体で高く評されている。

### 新 倉 瞳 (チェロ) Hitomi Niikura, Cello

桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業、皇居桃華楽堂新人演奏会に出演し御前演奏を行う。その後スイスへ渡り、バーゼル音楽院ソリストコース・教職課程の両修士課程を最高点で修了。これまでに毛利伯郎、堤剛、Thomas Demenga、Martin Zaller(バロック・チェロ)の各氏に師事。国内外での受賞歴も多数、近年では第18回ホテルオークラ音楽賞、第19回(2020年度)齋藤秀雄メモリアル基金賞チェロ部門受賞。桐朋学園大学在学中にはEMIMusicJapanよりCDデビューを果たし、これまでにEMI MusicJapanから3枚のアルバム、アールアンフィニ・レーベルより、最新CD『11月の夜想曲〜新倉瞳委嘱作品集』(世界初演初録音)を含む5枚のアルバムが発売されている。現在はCamerata Z·richのソロ首席チェリストとしてスイスを拠点に活躍する中、ソリスト、室内楽奏者として全国各地でリサイタル、オーケストラとの共演を重ね、司会、番組ナレーション、音楽劇、演奏家のためのドレスMMagliecassettoのプロデュース等、活動の幅を広げ音楽の素晴らしさを広く深く伝えようとする姿勢は多くの共感を集めている。使用楽器は、宗次コレクションより貸与されたMatteoGoffriller(1710年製)。

### 真 嶋 雄 大 (音楽評論家)

5歳からピアノを、中学から作曲を学ぶ。1973年に《ソプラノと和洋合奏のための変容》を発表、自ら指揮して注目された。朝日新聞等新聞各紙、「音楽の友」等音楽専門誌をはじめ、演奏会の曲目解説、CDやDVDのライナーノート、舞台劇の原作・台本等積極的な執筆活動が続けている。NHK-FM「ベスト・オブ・クラシック」等に出演すると同時に、様々なコンクールの審査員も務め、また全国の放送局や音楽ホールなどで、故中村紘子やS.ブーニンらとのレクチャー・コンサートで好評を博すとともに、岡谷カノラホール「はじめてのクラシック」、YCC県民文化ホールの「特別演奏会」、ベーゼンドルファー「美女と野獣」等、各地でコンサートのプロデュースも展開している。その模様が2017年「日経ビジュアル音楽堂」で紹介された。

著書に「グレン・ゲールドと32人のピアニスト(PHP研究所)」、「ピアニストの系譜(音楽之友社)」等、朝日カルチャーセンター新宿、山梨英和大学メイプルカレッジ等各講師を歴任。現在(公社)日本演奏連盟専門委員、YCC県民文化ホール・アーティストック・アドバイザー。「真嶋雄大の面白クラシック講座」主宰。ピアノを田中郁子に、作曲を原博に師事。